

「子どもの水辺」平成21年度 優良活動事例 一覧

平成21年度の「子どもの水辺」の活動の中から、活動において重要である「安全管理」、
「活発な活動」、「地域の連携」の3項目で優良な活動事例を紹介します。

●安全管理 優良活動事例

- ・安全な河川体験活動のために必要な取り組みを行っている水辺
- ・水辺活動の一環として安全講習を行っている水辺

ID	水辺名	都道府県	水系
01-14-014	真駒内川 水辺の楽校	北海道	石狩川
01-17-030	ながやま子どもの水辺	北海道	石狩川
05-15-002	子吉川（西滝沢小学校周辺）	秋田県	子吉川
13-15-005	府中市子どもの水辺	東京都	多摩川
13-20-019	多摩市子どもの水辺協議会	東京都	多摩川
14-18-004	ふるさと侍従川	神奈川県	侍従川

●活発な活動 優良活動事例

- ・年間活動回数が30回以上の、非常に活発な活動の場になっている水辺

ID	水辺名	都道府県	水系
03-16-001	江刺北上川水辺の楽校	岩手県	北上川
24-20-004	宮川水辺の学校（大杉谷地区）	三重県	宮川
25-15-002	日野川わくわくウォーターランド	滋賀県	日野川
27-18-005	楽しいんやさかい大和川	大阪府	大和川
40-15-004	板櫃川流域子どもの水辺	福岡県	板櫃川
46-16-001	八間川「水辺の楽校」	鹿児島県	川内川

●地域の連携 優良活動事例

- ・定期的な協議会による各機関との連携・調整を図りながら活用している水辺
- ・上記の結果、学校行事などで活発に活用されている水辺

ID	水辺名	都道府県	水系
01-18-033	あさひばし子どもの水辺	北海道	石狩川
01-19-034	望月寒ふれあい水辺	北海道	石狩川
04-14-001	下伊場野水辺の楽校運営協議会	宮城県	鳴瀬川
15-17-007	大曲河川公園	新潟県	信濃川
39-15-004	「奥田川かがやきの水辺」	高知県	仁淀川
40-18-007	ひこの水辺	福岡県	遠賀川

●安全管理 優良活動事例

- ・安全な河川体験活動のために必要な取り組みを行っている水辺
- ・水辺活動の一環として安全講習を行っている水辺

ID	水辺名	都道府県	水系
01-14-014	真駒内川 水辺の楽校	北海道	石狩川
01-17-030	ながやま子どもの水辺	北海道	石狩川
05-15-002	子吉川（西滝沢小学校周辺）	秋田県	子吉川
13-15-005	府中市子どもの水辺	東京都	多摩川
13-20-019	多摩市子どもの水辺協議会	東京都	多摩川
14-18-004	ふるさと侍従川	神奈川県	侍従川

真駒内川 水辺の楽校

河川名：真駒内川(石狩川水系)
 場所：北海道札幌市南区真駒内
 協議会名：真駒内川水辺の楽校
 協議会構成：真駒内川水辺の楽校(市民団体)を中心に、河川管理者や教育委員会のほか、市役所や近隣小学校で構成
 登録時期：平成14年1月

＜安全管理において優れている点＞

- ①水辺の楽しさや危険を学ぶなど、水難事故に遭遇しないための水辺の「安全講習」を行っている
- ②水辺活動の際に以下の安全管理を行っている
- ・活動に安全な場所を選んでいる。
 - ・内部に安全管理に熟知したスタッフがいる。
 - ・安全管理を熟知した外部指導者の手配を徹底している。
 - ・活動の際にはサポートスタッフの人員確保を図っている。
 - ・安全資機材(ライフジャケット等)の使用を徹底している。
 - ・河川情報や気象情報を入手している。
 - ・保険の整備(参加者の強制的な加入等)を徹底している。
 - ・安全管理についての情報を得ている。
 - ・安全管理・安全利用についての講習会や研修会を実施している。
 - ・その他
 (スタッフ全員がMFA(ベーシック)救急救命士の講習を定期的に受け資格を取得している。)

①主な活動内容

～春～

真駒内川周辺の野山で食べられる植物をみんなで探して、天ぷらにして美味しく頂きます！
 真駒内川の源流を探すピクニックに行きます。川で水の流れや川のそばの植物を観察したり、木を森に植えたりします。

～夏～

夏はもちろん！川遊び！魚とり、虫とりをやります！！
 川の不思議発見～川でサイエンス～川を利用して科学実験も！
 自然そのままの上流で滝すべり、川泳ぎ！
 夜の川の観察会で懐中電灯片手に魚たちの夜のようすを観察します！

～秋～

川のほとりで、木の実や小石、枝などでクラフトをしています！もちろん落ち葉でたき火をして焼き芋をやいたりもします！

～冬～

氷がはった川の下魚たちのようすを観察したり、スノーシューを履いて雪の川辺散策をします！
 ツリークライミングにも挑戦します！

②平成21年度の主な活動実績

平成21年5月8日春の活動を行いました。
 恒例の山菜天ぷらです！
 平成21年8月8日夏の活動を行いました。
 セオッチがやってくる！魚取り！虫取り！川泳ぎ！
 平成21年9月23日札幌市さけ科学館主催
 さけフェスタへ協賛参加！
 平成21年10月17日に秋の活動を行いました。
 “水辺の工作教室”です！
 平成22年2月20日冬の活動を行いました！
 スノーシューを履いて散策！！



③課題・問題点等

1. 参加児童が激減していること。
2. スタッフの集まりが固定化、高齢化、減少化していること。
3. 自然に触れあうという時間のゆとりへの理解が社会的に薄れる方向にあること。

ながやま子どもの水辺

河川名： 永山新川(石狩川水系)

場 所： 北海道旭川市永山町

協議会名： ながやま子どもの水辺協議会

協議会構成： 北海道旭川開発建設部治水課を中心に、NPOや市民団体のほか、公益法人や市役所、近隣小学校、PTAで構成

登録時期： 平成17年4月

<安全管理において優れている点>

①水辺の楽しさや危険を学ぶなど、水難事故に遭遇しないための水辺の「安全講習」を行っている

②水辺活動の際に以下の安全管理を行っている

- ・活動に安全な場所を選んでいる。
- ・内部に安全管理に熟知したスタッフがいる。
- ・活動の際にはサポートスタッフの人員確保を図っている。
- ・安全資機材(ライフジャケット等)の使用を徹底している。
- ・河川情報や気象情報を入手している。(情報入手先:旭川河川事務所)
- ・保険の整備(参加者の強制的な加入等)を徹底している。
- ・安全管理・安全利用についての講習会や研修会を実施している。

①主な活動内容

本「子どもの水辺」では、永山新川における水辺の利活用の促進を図るため、近隣の小学校や行政(旭川市、旭川開発建設部)、住民、教育大学、旭山動物園等と連携し、永山新川管理センター「さらら」を拠点とした取組みを行っている。具体的には、環境・防災教育、体験学習支援として、水のめぐみ体験学校、親子ふれあい防災教室、植物観察会、河川防災施設の見学、カヌー・ラフティング体験、水生生物調査、工作教室、親子陶芸教室、人と動物との関わり教室等を行なっている。

②水辺の魅力PR

分水路として建設された人工河川であるため、比較的水深が浅く、緩勾配で安定しているため、カヌー・ラフティングや水生生物調査等に安全に利用しやすい河川である。
また、春先や秋には数万羽に及ぶ白鳥やカモ類の野鳥が飛来する河川である。

③平成21年度の主な活動実績

◇4月～1月「水のめぐみ体験学校(全12回)」を実施。

概要:市内小学校の親子を対象に、農業体験や川での各種体験教室を行なった。

◇7月26日、1月11日「夏休み(冬休み)工作教室」を実施。

概要:石や流木などの自然素材を利用した工作教室を行なった。

◇8月1日「親子ふれあい防災教室」を実施。

概要:市内小学校の親子を対象に、さらら館での防災学習、ラフティング・カヌー体験、安全講習等を行なった。

◇8月5日「永山新川植物観察会」を実施。

概要:永山新川に植生する草花の観察会を行った。

◇8月29日、9月19日「ラフティング・カヌー体験教室」を実施。

概要:地元のカヌー倶楽部の協力をいただき、親子での体験教室や安全講習を行なった。

◇9月15日「川の防災施設見学会」を実施。

概要:地元小学校2校4年生を対象として、河川防災施設である忠別ダムや忠別川防災ステーション、石狩川治水学習館「川のおもしろ館」の見学を行なった。

◇12月10日「人と動物との関わり教室」を実施。

概要:環境学習の一貫として、旭山動物園の協力をいただき、今年の永山新川における渡り鳥への餌やりと鳥インフルエンザに続く取組みを行った。



④課題・問題点等

◇カリキュラムの中に、「川の体験学習」を組込む場合は、小学校との早めの調整が必要。

◇指導者の不足。

子吉川(西滝沢小周辺)

河川名：子吉川(子吉川水系)

場所：秋田県由利本荘市川西字高野

協議会名：西滝沢子ども水辺協議会

協議会構成：由利本荘市由利総合支所振興課を中心に、河川管理者や教育委員会のほか、近隣小学校で構成

登録時期：平成15年5月

<安全管理において優れている点>

①水辺の楽しさや危険を学ぶなど、水難事故に遭遇しないための水辺の「安全講習」を行っている

②水辺活動の際に以下の安全管理を行っている

- ・活動に安全な場所を選んでいる。
- ・内部に安全管理に熟知したスタッフがいる。
- ・活動の際にはサポートスタッフの人員確保を図っている。
- ・安全資機材(ライフジャケット等)の使用を徹底している。
- ・河川情報や気象情報を入手している。(情報入手先:子吉川河川情報(Web))
- ・保険の整備(参加者の強制的な加入等)を徹底している。
- ・安全管理についての情報を得ている。(情報入手先:子どもの水辺サポートセンターHP他)
- ・安全管理・安全利用についての講習会や研修会を実施している。

①主な活動内容

本「子どもの水辺」では、子吉川(由利本荘市滝沢水辺プラザ周辺など)の水辺の利活用の促進を図るため、市民と行政(国土交通省・由利本荘市)が連携し、近隣小学校の環境教育・体験活動の場として水質・生物調査、カヌー体験、美化活動等を行うとともに、子どもの体験活動を支援するための人材育成や、安全対策等の講習会に積極的に取り組んでいる。

②水辺の魅力PR

せせらぎが聞こえる石川原の河川敷です。周囲には旧西滝沢小学校の樹齢85年の桜並木が美しく、南には鳥海山が望む水がきれいな川です。小中学校の水生生物調査が通年行われ、水辺の安全講習会も毎年実施しています。

③平成21年度の主な活動実績

◆5月24日「水辺プラザ等クリーンアップ」を実施

クリーンアップは年間6回開催

堤防除草作業は年2回開催

参加者は1回開催あたり約60名

◆6月8日「アユ稚魚の放流」を実施

地元小学校1年生児童による約8千匹の稚魚の放流

◆7月18日「西滝沢水辺プラザ夏まつり(子吉川に親しむつどい)」を実施(昨年は大雨で中止。今年開催分を掲載)

- ・参加者250名(うち講習会参加者94名～子ども)
- ・川遊びの安全講習会(ライフジャケット遊泳、救助方法など)
- ・カヌー・ボート体験教室(初心者用のメニュー)
- ・魚の掴み取り体験(ヤマメ、ニジマス)
- ・昼食づくり体験(自分たちで焼きそば等を調理し食べる)
- ・クリーンアップ(終了後河川の清掃、ごみ拾い)
- ・水辺音楽祭、水辺のショー、水辺花火大会あり



④課題・問題点等

川遊び体験教室等の開催依頼(学校、団体等)に対応する指導者数が不足

府中市子どもの水辺

河川名：多摩川(多摩川水系)

場所：東京都府中市

協議会名：府中水辺の楽校運営協議会

協議会構成：府中市水と緑事業本部公園緑地課を中心に、河川管理者や教育委員会のほか、市民団体が構成

登録時期：平成15年2月

<安全管理において優れている点>

①水辺の楽しさや危険を学ぶなど、水難事故に遭遇しないための水辺の「安全講習」を行っている

②水辺活動の際に以下の安全管理を行っている

- ・活動に安全な場所を選んでいる。
- ・内部に安全管理に熟知したスタッフがいる。
- ・安全管理を熟知した外部指導者の手配を徹底している。
- ・活動の際にはサポートスタッフの人員確保を図っている。
- ・安全資機材(ライフジャケット等)の使用を徹底している。
- ・河川情報や気象情報を入手している。
- ・保険の整備(参加者の強制的な加入等)を徹底している。
- ・安全管理についての情報を得ている。
- ・安全管理・安全利用についての講習会や研修会を実施している

①主な活動内容

府中水辺の楽校では、子ども達が府中の多摩川で楽しみ学びながら、水辺の安全ルールを身に付け、日頃できない自然との触れあい自然体けから多摩川の良さを発見し、将来の自然環境を考えるきっかけになるような機会を提供しています。

②水辺の魅力PR

府中水辺の楽校は、自然体験が少なくなった小学生と保護者が魚とりや、植物・昆虫・鳥・石ころなどの観察を通して、多摩川の環境の豊かさについて体感することができるとともに、多種多様な人々のコミュニケーションの場となっている。

③平成21年度の主な活動実績

府中水辺の楽校イベント

- 第1回 平成21年 6月20日(土) 「多摩川でガサガサ魚とり」
- 第2回 平成21年 8月29日(土) 「多摩川おさかなウォッチング」
- 第3回 平成21年 9月19日(土) 「多摩川で魚のつかみどりとEポート」
- 第4回 平成21年10月17日(土) 「多摩川でガサガサ魚とりと魚つかみ」
- 第5回 平成21年11月28日(土) 「多摩川でクイモ探しと焼いも」
- 第6回 平成22年 1月23日(土) 「多摩川で石ころウォッチング」
- 第7回 平成22年 2月20日(土) 「活動発表会」

研修・講習

水辺の安全講習会 平成21年 5月24日(土)

支援活動

小学校総合学習協力 11回

- 矢崎小 4回
- 住吉小 4回
- 日新小 2回
- 武蔵台小 1回



④課題・問題点等

1. 備品・資材などの保管場所の確保(ライフジャケット、網など)
2. スタッフの充実(自治会、学校教諭や市民団体など様々な人材が集まり、さらに連携した事業活動を実施する体制を整える。)

多摩市水辺の楽校

河川名：多摩川(多摩川水系)

場所：東京都多摩市

協議会名：多摩市水辺の楽校運営協議会

協議会構成：多摩市都市環境部みどりと環境課を中心に、河川管理者や教育委員会のほか、多くの市民団体、近隣小学校で構成

登録時期：平成20年6月

<安全管理において優れている点>

①水辺の楽しさや危険を学ぶなど、水難事故に遭遇しないための水辺の「安全講習」を行っている

②水辺活動の際に以下の安全管理を行っている

- ・活動に安全な場所を選んでいる。
- ・内部に安全管理に熟知したスタッフがいる。
- ・活動の際にはサポートスタッフの人員確保を図っている。
- ・安全資機材(ライフジャケット等)の使用を徹底している。
- ・河川情報や気象情報を入手している。(情報入手先:京浜河川事務所防災情報)
- ・保険の整備(参加者の強制的な加入等)を徹底している。
- ・安全管理・安全利用についての講習会や研修会を実施している。

①主な活動内容

多摩市内の多摩川及び大栗川・乞田川の水辺環境とともにそこに生息する生き物を保全し、子どもたちの自然体験や世代を超えた市民の交流、さらに憩いの場として活用することを目的とする。

②水辺の魅力PR

多摩川河川環境管理計画による生態系保持空間が隣接しているため、自然豊かな場所であるとともに、さまざまな水生生物や野鳥が観察できる。

③平成21年度の主な活動実績

- ◆4月11日(土)「多摩市子どもの水辺協議会」設立総会
 - ◆6月7日(日)「川の生き物観察会」
河原の植物や水生生物の観察と専門家による解説
パックテストによる水質調査
 - ◆6月13日(土)「子どもの水辺ワークショップ」
 - ◆6月27日(土)「子どもの水辺ワークショップ」
多摩川塾 中本さん竹本さんも参加
 - ◆7月20日(月)「大栗川水辺祭り」
イカダ作りとイカダ競争
大栗川の清掃活動
 - ◆8月7(金)～9日(日)「多摩川源流体験サマーキャンプ」
笠取山登山、多摩川源流体験
 - ◆9月5日(土)「乞田川で魚のつかみとりだ」
水生生物の観察と専門家による解説
乞田川の清掃活動
- ほか「多摩市水辺の楽校」登録に向けて毎月定例会を開催した。



大栗川水辺祭り



多摩川源流体験サマーキャンプ



乞田川で魚のつかみとりだ

④課題・問題点等

1. 備品資材の保管場所の確保・・・(水辺の楽校の活動拠点の近い場所に保管場所が確保できるとさらに充実した活動が期待できる。)
2. 備品資材の充実・・・(ライフジャケット、水辺観察用機材 等)

ふるさと侍従川

- 河川名：侍従川(侍従川水系)
 場所：神奈川県横浜市金沢区
 協議会名：ふるさと侍従川に親しむ会
 協議会構成：ふるさと侍従川親しむ会(市民団体)を中心に、河川管理者や教育委員会のほか、近隣小学校で構成
 登録時期：平成18年8月

＜安全管理において優れている点＞

- ①水辺の楽しさや危険を学ぶなど、水難事故に遭遇しないための水辺の「安全講習」を行っている
 ②水辺活動の際に以下の安全管理を行っている
- ・活動に安全な場所を選んでいる。
 - ・内部に安全管理に熟知したスタッフがいる。
 - ・活動の際にはサポートスタッフの人員確保を図っている。
 - ・安全資機材(ライフジャケット等)の使用を徹底している。
 - ・河川情報や気象情報を入手している。(情報入手先:気象庁のホームページ)
 - ・保険の整備(参加者の強制的な加入等)を徹底している。
 - ・安全管理・安全利用についての講習会や研修会を実施している

①主な活動内容

「ふるさと侍従川に親しむ会」では、「侍従川(横浜市金沢区の朝比奈の森を源流とし、同区内の平潟湾に流れ込む全長約3Kmの小さな河川)」を活動の領域とし、川のクリーンアップ、生き物や水質の調査、アシの植え付けなどをおこなっています。
 「ふるさと侍従川に親しむ会」は、この侍従川で、子どもたちがむかしのようにもう一度遊べる自然豊かな川として守り育てていくことを目的としています。

②水辺の魅力PR

「ふるさと侍従川に親しむ会」の特徴は、幼児から高齢者までが会の活動に参加したり、協力したりすることです。また、青少年の健全育成の観点からも、学生部(中高生)に主体性をもたせて、運営しています。

③平成21年度の主な活動実績

毎月『侍従川定例クリーンアップ』

2009年

- 4月18日 『春を味わおう！～春の草摘みと野草料理パーティー～』
 4月19日 『葦船乗船会～侍従川川びらき～』
 5月31日 『春の森探検～自然観察会～』
 6月13日、6月14日 ホタル観察会
 7月11日 『侍従川大調査会&ハグロトンボ調査』
 8月2日 『夏休み野外教室in侍従川』
 8月4日、8月5日 『学生部夏期合宿in愛川』
 8月8日、8月9日 『イカダづくり』、『侍従川川下り大会』
 8月15日、8月16日 『ジュニアキャンプin野島』
 9月12日 『秋の朝比奈の森探検～侍従川源流の森の自然観察～』
 10月11日 『はぜ釣り大会』
 12月13日 『冬の森探検～自然観察会&リース作り』

2010年

- 1月9日 『ネイチャークラフト教室』
 1月16日 『鎌倉上総掘り現地見学会』



④課題・問題点等

この会の活動は、横浜市金沢区内の大道小学校のトンボ池から始まったものですが、トンボ池のメダカが侍従川に流れていって、たくさんのメダカが泳ぐ川となりました。メダカが池から侍従川に流れていったように、会の活動領域も点(トンボ池)から線(侍従川)へと拡がりを持つようになり、活動内容もより一層地域に密着していきました。これからは、地域はもちろんのこと、行政や小・中学校・近隣の大学、そして市内外で活動している環境保全団体とも連携しながら、活動の領域も面へ拡げて行きたいと思っています。

●活発な活動 優良活動事例

- ・年間活動回数が30回以上の、とにかく活発な活動の場になっている水辺

ID	水辺名	都道府県	水系
03-16-001	江刺北上川水辺の楽校	岩手県	北上川
24-20-004	宮川水辺の学校（大杉谷地区）	三重県	宮川
25-15-002	日野川わくわくウォーターランド	滋賀県	日野川
27-18-005	楽しいんやさかい大和川	大阪府	大和川
40-15-004	板櫃川流域子どもの水辺	福岡県	板櫃川
46-16-001	八間川「水辺の楽校」	鹿児島県	川内川

江刺北上川水辺の楽校

河川名： 北上川(北上川水系)

場所： 岩手県奥州市江刺区大通り1番8号

協議会名： 江刺北上川水辺の楽校運営協議会

協議会構成： 河川管理者や教育委員会のほか、近隣小中学校、PTA、老人クラブ、市民団体、地区振興会で構成

登録時期： 平成16年1月

<活発な活動において優れている点>

①「子どもの水辺」で活発に活動している(年間に30回程度以上)

年間活動回数： 30回程度
年間延べ参加人数： 約900人(子ども)
約150人(大人)

①主な活動内容

江刺北上川水辺の楽校は現在、管理が江刺市(現在は奥州市)に委託され、更に、地元組織された「江刺北上川水辺の水辺の楽校運営協議会」で管理運営(施設整備・備品配備と貸与等)をおこなっている。

当施設は北上川と広瀬川の合流点である北上川の河川敷4ヘクタールを整地し、散策道路と多目的広場・学習広場・野鳥観察広場等が設置されている。

地元地区民・各種団体・小中学生をはじめ、誰もが「まなび」「いこい」「ふれあい」の場として活用でき、環境保全やボランティア活動等へ積極的に取り組む力を育成する場として利用されている。

②PRポイント

- ・川の流れがゆるやかであり、ボート遊び(ゴムボート貸与可能)など、安心して遊べる場である。
- ・多目的広場に、グランドゴルフ・ゲートボールコートを作成し、高齢者のふれあいの場となっている。
- ・作成後に白鳥の飛来があり(過去最大38羽)、1羽は夏を越しており、散策者の心の癒しとなっている。
- ・散策道には、さつき・アジサイが植栽されており、開花時には目を和ませる。

③平成21年度の主な活動実績

平成21年度江刺北上川水辺の楽校運営協議会事業行事報告

1、活動報告

奥州市との委託契約に基づき、施設管理・利用促進・周知活動をすすめると共に、地区の特徴的施設として地区民への愛着を図ってきた。

- ①施設管理・環境整備と施設設備の充実を図ってきた。
- ②施設を利用した行事の実施と利用推進を図ってきた。
- ③施設利用について内外への周知宣伝を図ってきた。

2、活動内容

(1)環境整備

- ①除草活動 ②清掃活動 ③美化活動 ④補修整備活動 ⑤軽スポーツコートの造成 ⑥各種表示の設置
- ⑦飛来白鳥の保護 ⑧ハイブリット夜間照明灯の設置

(2)利用推進

- ①直接的事業の実施 ②児童生徒の活動支援 ③利用者の概数=5,680人(内訳/散歩・ウォーキング・癒しを求めて・交流懇親・軽スポーツ・自然学習・清掃除草活動など) ④利用者支援

(3)周知活動

- ①パンフレット配布 ②マスコミ活用 ③訪問者への説明

3、主な事業行事

4月/清掃活動・安全点検・北上川一斉クリーン活動・鯉のぼり掲揚

5月/除草清掃活動・鯉のぼり撤去・浚渫工事・奥州チャレンジデー・倒木処理

6月/除草清掃活動

7月／除草清掃活動・北上川河口清援隊参加・安全点検・EM玉投入

8月／除草清掃活動

9月／除草清掃活動・ゴムボート利用講習

10月／除草清掃活動・防災訓練

11～12月／清掃活動

1月／散策道除雪

2月／白鳥飛来・最大38羽

3月／清掃活動

年間／施設の安全管理・設備備品の管理・利用状況の把握

④課題・問題点等

- ①除草活動について、地区民の協力により毎月3回程度実施しているが、範囲が広く全体に行き渡るには困難を来たしている。特に外来植物の駆除に苦しんでいる。
- ②施設内に「釣り場」も設置しているが、釣り糸放置などマナーの悪さに困っている。
- ③たまに発生する冠水時とその後の漂着物の処理に困惑している。特に、飛び石にひっかかる流木・草の処理に苦勞している。
- ④地区民がより大きく施設への愛着を持てるようにする必要がある。
- ⑤そのため、施設の電飾や、芋の子会などの特徴的行事を配置する必要がある。

宮川水辺の学校(大杉谷地区)

河川名： 宮川(宮川水系)

場 所： 三重県多気郡大台町

協議会名： -

協議会構成： NPO法人大杉谷自然学校を中心に、河川管理者や教育委員会のほか、市民団体が構成

登録時期： 平成20年12月

<活発な活動において優れている点>

①「子どもの水辺」で活発に活動している(年間に30回程度以上)

年間活動回数 : 30 回程度

年間延べ参加人数: 約500人(子ども)

約 50人(大人)

①主な活動内容

本「子どもの水辺」では、宮川大杉谷地域周辺の水辺の利活用の促進を図るため、町の教育委員会と連携し、近隣小学校の環境教育・体験活動の場として水質・生物調査、魚釣り体験、その他川遊び体験、美化活動等を行っている。

②PRポイント

平成21年度の清流日本一にも選ばれた宮川の上流部に位置し、豊かな自然に囲まれた中での、川遊び体験、飛び込みや魚釣りができます。

③平成21年度の主な活動実績

●7月2日 宮川小学校ディキャンプ

概要: 地元小学生を対象とした魚類観察、川泳ぎ体験を実施した

●7月10日 相可小学校川の体験

概要: 地元小学生を対象とした魚類観察、川泳ぎ体験を実施した

●7月17日 松阪第五小学校川の体験

概要: 松阪地域の小学生を対象とした魚類観察、川泳ぎ体験を実施した

●8月5日～7日 わくわく体験キャンプ

概要: 宮川で泳いだり、魚を捕まえたり、川遊びを体験した



日野川わくわくウォーターランド

河川名：日野川(淀川水系)

場所：滋賀県東近江市

協議会名：特定非営利活動法人 蒲生野考現倶楽部

協議会構成：特定非営利活動法人 蒲生野考現倶楽部を中心に、河川管理者や教育委員会で構成

登録時期：平成15年10月

＜活発な活動において優れている点＞

①「子どもの水辺」で活発に活動している(年間に30回程度以上)

年間活動回数：30回程度
年間延べ参加人数：約300人(子ども)
約200人(大人)

①主な活動内容

身近な地域の水環境を調べ、水と暮らしについて望ましい水辺の環境と健全な青少年育成を目的として活動を進めています。学校の夏休みには、毎年「かいどり大作戦」を行っています。150名から200名の参加で魚つかみの後、生き物調査、水質調査、水音調査、などで賑わっています。みぞっこ探検隊によるホタルの調査を終えた後日6月に毎年「蛍ほのぼのコンサート」を行っています。こだわり農業では、農薬を使わないきれいな水でお米づくりをしています。

②PRポイント

蒲生野考現倶楽部の合言葉は「たんけん・はっけん・ほっとけん」です。地域に出かけると、そこでの生き物の営みと先人の知恵に学ぶことが多くあります。瑞々しい感性はワクワク感動体験や自ら参画する保全活動から培われます。「ほっとけん」にまで高まり、動きだしたとき、目の前の私たちの川が「心のふるさと」になっていくでしょう。

③平成21年度の主な活動実績

5月16日「田植え」「みぞっこ探検」

70名の参加のもと地元の方と子どもたちが賑やかに田んぼに早苗を植えました。

地域に流れる小川には生き物がたくさんいました。カワニナの巻貝もたくさん見られ蛍が舞い飛ぶ日が待ちどろしいです。

6月13日「蛍ほのぼのコンサート」「蛍観賞会」

廃校になった木造校舎で日野少年少女合唱団に懐かしい曲や蛍の歌など歌ってくれました。地域の方に見守られながら美しく蛍が舞いかう蛍観賞に行きました。

7月18日「稲の花観察・昆虫観察」

少しの時間しか咲かない稲の花をルーペを使って観察、田んぼにいる生き物もたくさん見られました。近くの里山にはカブトムシや、タマムシなどいろんな生き物を捕まえました。

8月1日「かいどり大作戦」

大人も子どもと一緒に魚つかみをし分類別に水槽にいれるとみんなの目は魚にくぎづけ、魚の博士に魚の説明を聞きます。水質調査も実演され、改めてこの川の大切さを知る一日でした。

10月3日「稲刈り・収穫祭」

稲の穂にはぷっちりとお米がつまっています。カマをもち地域の方に教わりながら稲刈をしました。

餅つき、やきいも、お腹まんぷくになり、むかしの脱穀、モミホシなど楽しく体験しました。

モニタリング里地調査

水環境調査・(1月,4月,7月,10月) 蛍・(5月,6月,7月,8月,)野鳥・(1月,5月,6月,12月)
植物調査・(毎月)実施



楽しいんやさかい大和川

河川名：大和川(大和川水系)

場所：大阪府堺市堺区遠里小野～浅香山地先等

協議会名：大和川 花の路・水の道 協議会

協議会構成：堺市建設局土木部河川水路課を中心に、河川管理者や教育委員会のほか、市民団体が構成

登録時期：平成18年11月

<活発な活動において優れている点>

①「子どもの水辺」で活発に活動している(年間に30回程度以上)

年間活動回数：32回程度
年間延べ参加人数：約300人(子ども)
約100人(大人)

①主な活動内容

本「子どもの水辺」では、大和川の水辺の利活用の促進を図るため、市民と行政が連携し、近隣小学校の環境教育・体験活動の場として水質・生物調査、カヌー体験、美化活動等を行うとともに、子どもの体験活動を支援するための人材育成や、安全対策等の講習会に積極的に取り組んでいる。

②PRポイント

大和川の歴史・文化の伝承・育成。水生生物調査。
水辺環境体験型の芸術やスポーツ。

③平成21年度の主な活動実績

◆6月13日「楽しいんやさかい大和川水辺の楽校」プレ開校

概要：市内の小中学生を対象に、大和川の水質・生物調査、あし笛作りを行った。

◆8月1日「楽しいんやさかい大和川水辺の楽校」開校式典、水辺の楽校まつり

概要：消防音楽隊のファンファーレや市内の中学校吹奏楽部の合奏、大和川博士講座、せせらぎ遊びなどを行った。

◆9月23日 大和川のクリーンアップキャンペーンに参加

概要：大和川沿線の自治連合協議会や市内の中・高等学校の生徒等が参加し、水辺の楽校や川に入る注意事項の説明、清掃活動を行った。

◆11月9日 水辺の楽校開校

概要：市内の小学校4年生を対象に、大和川のエピソードや水質改善の取り組みについての語り、水質・生物調査を行った。

◆11月28日「さかいつこ環境フェスティバル」に出展

概要：水辺の楽校紹介やエビ、ウナギ、カメなどの生き物展示を行った。

◆1月31日「水から始まる何でも博覧会」に出展

概要：展示ブースに、水辺の楽校の説明や活動を紹介するパネルを展示した。

◆3月7日「大和川クリーン作戦」の日に水辺の楽校開校

概要：地域の子どもたちを対象に、安全講習、風の作り方や風についての説明、風足のペイント、風揚げを行った。

◆3月20日 指導員・活動員研修会

指導員や活動員を対象に、大和川の淡水魚についての講演などを



④課題・問題点等

運営の自立化

指導員・活動員の育成

板櫃川水辺の楽校

河川名：板櫃川(板櫃川水系)
 場所：福岡県北九州市八幡東区高見二丁目
 協議会名：板櫃川水辺の楽校の会
 協議会構成：北九州市建設局下水道河川部計画課を中心に、河川管理者や教育委員会のほか、
 板櫃川・槻田川流域会議で構成
 登録時期：平成15年4月

<活発な活動において優れている点>

①「子どもの水辺」で活発に活動している(年間に30回程度以上)

年間活動回数：30回程度
 年間延べ参加人数：約1100人(子ども)
 約600人(大人)

①主な活動内容

「板櫃川水辺の楽校」では、水辺の利活用の促進を図るため、地域と行政が連携し、地域住民や小学生を対象とした川の環境学習やイベント、除草・清掃活動など、様々な取り組みが行われている。

②PRポイント

「板櫃川水辺の楽校」では、市街地の中で遊んで学べる自然体験ができます。川に近づきやすく、間近に魚や昆虫などを観察でき、また、水質はきれいで、瀬や淵も形成されているため、多様な生態系が育まれています。

③平成21年度の主な活動実績

◆「板櫃川水辺の楽校の会」による除草・清掃活動
 毎月1回開催 毎回約50名参加

◆「板櫃川水辺の楽校の会」による川の環境学習
 8月、2月の年2回開催 毎回約50名参加
 川の環境や生き物について室内学習、現地観察を行う

◆「板櫃川リバーアドベンチャー」
 8月4～5日(1泊2日) 約40名参加
 リバートレッキングや生き物観察など板櫃川を舞台とした自然体験活動

◆環境学習プログラム
 7月、9月 約1,000名参加
 小学校の授業の一環で「水辺の楽校」を訪れ、自然の大切さを学ぶ



「水辺の楽校の会」による川の環境学習



リバートレッキング

④課題・問題点等

現在、「水辺の楽校の会」で中心となって活動している方が今後いなくなった場合に、活動が継続していくかが課題である。環境学習会等を継続的に実施し、地域住民の河川環境への理解を深めてもらう。

八間川「水辺の楽校」協議会

河川名： 八間川(川内川水系)
 場所： 鹿児島県薩摩川内市高江町
 協議会名： 峰山地区コミュニティ協議会
 協議会構成： 峰山校区公民会連絡協議会を中心に、河川管理者や教育委員会のほか、
 近隣小学校で構成
 登録時期： 平成16年6月

<活発な活動において優れている点>

①「子どもの水辺」で活発に活動している(年間に30回程度以上)

年間活動回数： 30回程度
 年間延べ参加人数： 約 210人(子ども)
 約1100人(大人)

①主な活動内容

本「子どもの水辺」の八間川「水辺の楽校」では、川内川水系の八間川の利活用のために、国土交通省川内川河川事務所による八間川「水辺の楽校」り整備に続き、平成20年12月に薩摩川内市が八間川「水辺の楽校」公園を設置し、峰山小学校の自然・環境教育と、高江保育園の野外保育、そして子ども達を含めた峰山地区(高江町)民による八間川「水辺の楽校」江之口眼鏡橋「星空コンサート」の開催により地区内外からの交流人口増と子ども達が「遊び・楽しみ・学ぶ」場として活用している。

②PRポイント

毎年10月に八間川「水辺の楽校」で江之口眼鏡橋「星空コンサート」を開催しています。
 八間川にかかる薩摩川内市指定文化財の江之口橋は、肥後の石工架橋の貴重な眼鏡橋です。

③平成21年度の主な活動実績

- 1 5月11日 八間川の除草作業、ごみ・空き缶拾い実施
- 2 7月6日 八間川の除草作業、ごみ・空き缶拾い実施
- 3 9月7日 八間川の除草作業、ごみ・空き缶拾い実施
- 4 10月4日 八間川の川底の除草作業実施
- 5 10月11日 八間川「水辺の楽校」江之口眼鏡橋「星空コンサート」実施
- 6 12月下旬 薩摩川内市の八間川「水辺の楽校」公園完成
- 7 峰山小学校、高江中学校は自然・環境・歴史教育として野外教育実施
- 8 高江保育園は年間を通じて晴天時に野外保育を実施



④課題・問題点等

八間川の川底除草には、除草後の草運搬用の船と堤防道路への引き揚げ用の重機類が必要で経費がかかる。

●地域の連携 優良活動事例

- ・定期的な協議会による各機関との連携・調整を図りながら活用している水辺
- ・上記の結果、学校行事などで活発に活用されている水辺

ID	水辺名	都道府県	水系
01-18-033	あさひばし子どもの水辺	北海道	石狩川
01-19-034	望月寒ふれあい水辺	北海道	石狩川
04-14-001	下伊場野水辺の楽校運営協議会	宮城県	鳴瀬川
15-17-007	大曲河川公園	新潟県	信濃川
39-15-004	「奥田川かがやきの水辺」	高知県	仁淀川
40-18-007	ひこの水辺	福岡県	遠賀川

あさひばし子どもの水辺

河川名：石狩川・牛朱別川(石狩川水系)

場所：北海道旭川市牛朱別川合流点付近

協議会名：あさひばし子どもの水辺協議会

協議会構成：北海道旭川開発建設部(治水課)を中心に、NPOや市民団体のほか、公益法人や市役所、近隣小学校、PTAで構成

登録時期：平成18年4月

＜地域の連携において優れている点＞

- ①「子どもの水辺協議会」を定期的開催し、各機関との連携・調整が図られている
- ②同時に、小中高等学校や市民団体などの「子どもの水辺」での活動が活発に行われている

- 学校授業での活用内容

学年：小学校4年生～6年生

教科：総合的な学習の時間、英語、理科

参加人数：約565名（年間延べ人数）

活動内容：リバーエクステンジ、川の体験活動、植物観察会、水生生物調査、魚類調査

①主な活動内容……本「子どもの水辺」では、石狩川旭橋周辺の水辺の利活用の促進を図るため、近隣の小学校や行政(旭川市及び旭川開発建設部)、住民、教育大学等の連携によって、石狩川治水学習館「川のおもしろ館」を拠点とした取組みを行っている。具体的には環境・防災教育、体験活動支援として、植物観察会、水生生物調査or魚類調査、川下り体験、防災施設見学会等を行うと共に、総合学習活動の支援として、小学校の教師や北海道教育大学旭川校の生徒を対象として、川での体験活動の指導者育成や安全講習、プロジェクトWET等を毎年実施している。

②PRポイント

旭川市の中心部に位置し、北海道遺産である「旭橋」や「石狩川」の他、常磐公園や川のおもしろ館を初めとする公園内の各公共施設、リベライン旭川パークなど多くの施設が近接する、「川のまち旭川」を象徴するエリアである。

③平成21年度の主な活動実績

◇7月22日「水辺の植物観察会」を実施。

概要：地元小学校裏の河川敷で植物観察会を行った。

◇7月23日「水生生物調査と魚類調査」を実施。

概要：地元小学校5年生を対象とした川原での水生生物調査と魚類調査を行った。

◇7月31日「川の指導者育成体験学習会」を実施。

概要：総合学習活動の支援として、旭川市内小学校の教師を対象として、川下り体験、水生生物調査、安全講習等を行なった。

◇8月6日・7日「子ども川下り体験」を実施。

概要：ラフティングボートによる川下りと安全講習を行なった。

◇8月12日「石ころアート体験会」を実施。

概要：小学生親子を対象に、石ころアート体験を行なった。

◇9月6日「彫刻見学会」を実施。

概要：石狩川に隣接する常磐公園や7条緑道、買物公園等にある彫刻の見学会を行った。

◇9月14日「川の防災施設見学会」を実施。

概要：地元小学校2校5年生を対象として、河川防災施設である忠別ダムや忠別川防災ステーション、永山新川管理センター「さら館」の見学を行なった。

◇12月12日・13日「プロジェクトWET」講習会を実施。

概要：小学校の教師や北海道教育大学旭川校の生徒を対象として水や水資源の教育である「プロジェクトWET」エドゥケーター養成講座を行なった。



④課題・問題点等

◇カリキュラムの中に、「川の体験学習」を組む場合は、小学校との早めの調整が必要。

◇指導者の不足。

望月寒ふれあいの水辺

- 河川名： 望月寒川(石狩川水系)
 場所： 北海道札幌市白石区中央2条5丁目地先
 協議会名： 望月寒ふれあいの水辺
 協議会構成： 北海道札幌土木現業所 事業課を中心に、教育委員会や近隣小学校のほか、
 市役所や市民団体、地域の町内会で構成
 登録時期： 平成19年12月

＜地域の連携において優れている点＞

- ①「子どもの水辺協議会」を定期的開催し、各機関との連携・調整が図られている
 ②同時に、小中高等学校や市民団体などの「子どもの水辺」での活動が活発に行われている

● 学校授業での活用内容

- 学 年： 小学校
 教 科： 社会科
 参加人数： 約100名（年間延べ人数）
 活動内容： 川の歴史や文化を研究、継承する「歴史・文化活動」

①主な活動内容

望月寒川では、子どもたちや地域住民の方が自然観察、散策、水遊びなどの活動ができるような、身近な水辺を未来に引き継ぐため、協議会等により検討を行いながら河川の整備を進めている。
 「子どもの水辺」では、西白石小学校「水辺の楽校」活動として、地域住民や札幌土木現業所との連携により、水防災に関する活動を始めた。

②PRポイント

「子どもの水辺」では、望月寒川における河川条件や、地域住民の関心度及び最近の社会条件等を踏まえた活動として、関心の高い「水質」と「防災」の活動を行う予定です。平成21年度においては、水防災に関する活動を行った。

③平成21年度の主な活動実績

- 第1回 西白石小学校
 ・水辺の楽校活動(歴史・文化)
 ・平成21年12月17日

第1回目のテーマは「地域の歴史と文化を知る」ということで、古地図を用いて地域や川の変遷(歴史)を学び、地元住民の方から地域の歴史についてお話をいただいた。

- 第2回 西白石小学校
 ・水辺の楽校活動(現場見学会)
 ・平成22年3月9日

望月寒川で実施されている工事の見学を3月9日に行った。普段は見ることのできない河川の工事現場を見てもらい、どのような手順で工事を進めていくのかを説明した。子どもたちは、重機への乗車体験をしたり大きなクーン等を間近に見て、とても関心を示していた。

- 第3回 西白石小学校
 ・水辺の楽校活動(気象・防災)
 ・平成22年3月11日

「気象・防災」をテーマとした水防災に関する活動を3月11日に行った。
 雲ができて、雨や雪がどうして降るのかなどを学んだ。また、雪や雲の気象実験を行い、雨量計の量り方などを実際に確認した。洪水に関する映像を見てもらい、増水したときの川の怖さを学んだ。

- 感想文・壁新聞
 ・洪水の映像を見て、増水したときの川の怖さを学んだこと
 ・実験に関すること



④課題・問題点等

平成19年に水辺の楽校登録を受け、「水辺の楽校推進委員会」を設立し活動内容や連携体制等の協議を重ねた結果、本年度の「西白石小学校 水辺の楽校活動」を実施することができた。
 今後も引き続き水辺の楽校の活動内容等について協議を行う。

下伊場野水辺の楽校運営協議会

河川名： 鳴瀬川(鳴瀬川水系)

場所： 宮城県大崎市松山下伊場野地先

協議会名： 下伊場野水辺の楽校運営協議会

協議会構成： 松山町役場建設課を中心に、河川管理者や教育委員会のほか、近隣小学校で構成

登録時期： 平成14年12月

<地域の連携において優れている点>

①「子どもの水辺協議会」を定期的かつ不定期(イベント前など臨時)にも開催し、各機関との連携・調整が図られている

②同時に、小中高等学校や市民団体などの「子どもの水辺」での活動が活発に行われている

● 学校授業での活用内容

学年： 小学校1年生～6年生

教科： 総合的な学習の時間、図工、体育、理科

参加人数： 約350名 (年間延べ人数)

活動内容： 水辺清掃、水辺体験、水質調査、水生生物調査、川観察、野外炊事、ソリ滑り、写生会
河川敷と堤防を使った持久走大会

①主な活動内容・・・本「子どもの水辺」では、H11に水辺の楽校として整備されて以来、自然の教材に触れ合う事のできる校外学習の場として、地元小学校を始め、地域内外の幼稚園・保育所からも多く利用されている。他にも、地域住民を会員とした水辺の楽校運営協議会(以下「協議会」)を中心に、行政と連携し「水質・生物調査」「カヌー体験」「美化活動」「堤防でのソリ滑り」等を行うほか、自然体験活動の場を適正に維持する為の河川愛護活動を、積極的に取り組んでいる。

②PRポイント・・・施設内の小まめな維持管理のほか、本川の脇に整備した浅瀬の人工河川により、誰もが気軽に安心して河川に親しめる空間として活用されてきている。また、ファイヤーサークルや野外炉も整備されており、パーベキューやキャンプ、堤防でのソリ滑り等、年間を通じて様々な楽しみ方ができる施設となっている。

③平成21年度の主な活動実績

◆7月7日「水辺クリーン作戦」を実施

概要：地元小学校と協議会合同で河川時期清掃活動を行い、河川敷に自生している草花を使って創作活動を行った。

◆8月27日「水質調査・水生生物調査」を実施

概要：地元小学校で、国交省の検査キットを活用して水質・水生生物を調べた。

◆9月8日「水辺体験活動」を実施

概要：地元小学校で、カヌー体験や水遊びの活動を行った。

◆10月13日「水辺の楽校感謝のつどい」を実施

概要：協議会主催により、河川敷公園で「岩魚のつかみどり」等、水辺の楽校に感謝するつどいを行った。

◆10月30日「水辺クリーン作戦・野外炊事」を実施

概要：地元小学校で、河川時期清掃活動を行い、その後、河川敷で野外炊事を行った。

◆2月「ソリ滑り」を実施

概要：地元小学校で、堤防を利用したソリ滑りを行った。



④課題・問題点等

◆今後も「誰もが」「安全に」「気軽に」河川に親しむ活動を行うためには、地元の協力はさることながら、協議会が国交省と市から請け負っている除草業務内容の現状維持が必要不可欠である。

大曲河川公園

河川名： 中ノ口川(信濃川水系)

場 所： 新潟県燕市大曲

協議会名： 燕市大曲河川公園ファンクラブ

協議会構成： 燕市教育委員会 燕市子ども体験活動支援センターを中心に、河川管理者や市民団体が構成

登録時期： 平成17年10月

＜地域の連携において優れている点＞

- ①「子どもの水辺協議会」を定期的かつ不定期(イベント前など臨時)にも開催し、各機関との連携・調整が図られている
- ②同時に、小中高等学校や市民団体などの「子どもの水辺」での活動が活発に行われている

● 学校授業での活用内容

学 年： 小学校3年生～5年生

教 科： 生活科、社会科、理科

参加人数： 約500名（年間延べ人数）

活動内容： ごみ調べ、水質調査、生物調査、自然体験活動、自然観察

①主な活動内容

本「子どもの水辺」では、中之口川(燕市大曲県央大橋周辺など)の水辺の利活用の促進を図るため、市民と行政(燕市など)が連携し、近隣小学校の環境教育・体験活動の場として水質・生物調査、「燕楽・水辺の巻」カヌー体験、美化活動をはじめとする水辺の体験活動を行うとともに、通年で花絵プロジェクトやクリスマスイルミネーション・ネイチャーゲームなど様々な体験活動を通じ子どもの体験活動を支援するための人材育成や、安全対策等の講習会に積極的に取り組んでいる。

②PRポイント

起点となる「燕市大曲河川公園」は、自然と共存をモットーに整備された公園であり通年で様々な活動が可能。よく管理整備された公園と流れも緩やかで見通しの効く安全で安心な中ノ口川での親水体験は都市部でありながら自然と触れ合える魅力あふれる場所です。

③平成21年度の主な活動実績

- ◆5月3日「燕楽・花絵の巻(チューリップの花絵つくり)」を実施
概要:チューリップの花を使ったアート作品を制作展示
- ◆5月17日「自然観察会・ディキャンプ」を実施
- ◆6月7日～8日「自然体験活動・キャンプ」を実施
- ◆6月7日・30日「水質調査」を実施
概要「みずとみどり研究会実施の身近な水環境全国一斉調査」
- ◆6月13日「水際除草・水防啓発活動」を実施
概要:市民団体などと共同で水防啓発の為実施
- ◆6月18日「大関小学校自然観察会」を実施
- ◆7月11日「ナイトウォーク」を実施
概要:風の子クラブの恒例行事、中ノ口川沿いを歩きます。
- ◆7月15日「燕北小学校自然観察会」を実施
- ◆7月25日「夜の自然観察会」を実施
概要:長岡市公民館行事
- ◆8月1日「水辺の除草・水防啓発活動」を実施
- ◆8月22日「燕楽・水辺の巻」を実施
- ◆11月28日「クリスマスイルミネーション点灯式」を実施



④課題・問題点等

・立地的に通年での活動(特に冬期)が制約されるのですが極力その季節状況に合わせた事業を計画すべく、今後も積極的な事業展開が必要と思われる。

奥田川かがやきの水辺

河川名： 奥田川(仁淀川水系)

場 所： 高知県伊野町八田地先

協議会名： 奥田川かがやきの水辺推進協議会

協議会構成： 伊野町立伊野南小学校を中心に、河川管理者や教育委員会、近隣中学校で構成

登録時期： 平成15年8月

<地域の連携において優れている点>

- ①「子どもの水辺協議会」を定期的かつ不定期(イベント前など臨時)にも開催し、各機関との連携・調整が図られている
- ②同時に、小中高等学校や市民団体などの「子どもの水辺」での活動が活発に行われている

● 学校授業での活用内容

学 年： 小学校3年生

教 科： 総合的な学習の時間

参加人数： 約150名(年間延べ人数)

活動内容： メダカや植物観察会、清掃、看板立て

①主な活動内容

本「子どもの水辺」の奥田川かがやきの水辺では、住民や学校・行政による推進協議会が、環境学習の場として、川周辺の水質・水生生物調査、草刈り掃除作業を定期的に行っている。

また、伊野南小学校では、学校ビオトープのオグラコウホネの移植や、地元の社会人講師のもと、生徒による奥田川とその周辺地域の調査が継続して実施されている。

②PRポイント

貴重植物であるオグラコウホネとナガエミクリが生育しており、これらの貴重種を含め、多種多様な動植物が生育・生息できる環境をつくり、また住民や子供たちが親しめる川としていくことを目指している。

③平成21年度の実績

◆6月29日 奥田川水質検査

奥田川(三箇所)、仁淀川、八田のいずみ、学校ビオトープで汲んだ水を学校へ持ち帰り、バックテストで水質を調べた。

◆7月3日 奥田川・ビオトープ水生生物調査

講師 石川 妙子先生

奥田川に住んでいる水生生物を採集し、理科室で観察。石川先生から、詳しい生態を教えていただく。

◆9月8日 奥田川水生生物調査

講師 仁淀川漁業協同組合

漁協のみなさんがあらかじめ捕ってくださった奥田川の生き物(魚・かに)



ひこの水辺

河川名：彦山川(遠賀川水系)

場所：福岡県田川郡福智町赤池334番地先

協議会名：ひこの水辺協議会

協議会構成：福智町教育委員会 学校教育課を中心に、河川管理者のほか、市民団体や近隣中学校で構成

登録時期：平成18年6月

<地域の連携において優れている点>

- ①「子どもの水辺協議会」を定期的かつ不定期(イベント前など臨時)にも開催し、各機関との連携・調整が図られている
- ②同時に、小中高等学校や市民団体などの「子どもの水辺」での活動が活発に行われている

● 学校授業での活用内容

学年：中学校2年生

教科：総合的な学習の時間

参加人数：約225名(年間延べ人数)

活動内容：河川清掃、水質検査、河川環境学習

①主な活動内容

本「子どもの水辺」では、彦山川(5k600m周辺)の水辺の利活用の促進を図るため、学校・行政・町民団体等が連携し、近隣小・中学校の河川環境学習・サケの稚魚放流、カヌーなどの自然体験活動を実施。また地域ボランティアと連携して河川清掃等を行うなど、子どもの体験活動を支援しながら人材育成や、安全対策等の講習会に積極的に取り組んでいる。

②PRポイント

- ・高水敷に遊歩道が整備され、地域住民の散歩や四季折々の草花観察ができる環境がある。
- ・カヌー乗り場や水辺へのアプローチが容易に出来る様な整備がされており、河川利用を促進している。

③平成21年度の主な活動実績

5月30日河川清掃を実施

概要 赤池中学校2年生70名、地元ボランティア(彦山川夢の会30名)が協力して河川清掃を実施

8月24日「Pボート体験」を実施

概要 赤池中学校2年生70名が彦山川左岸に完成したカヌー乗場を利用して、ボート体験をした。

9月6日カヌー乗場付近の除草作業を実施

概要 赤池中学校教職員約6名にてカヌー乗場周辺の除草作業を実施している。

3月6日河川清掃及びサケの稚魚放流を実施

概要 赤池中学校2年生70名、地元ボランティア(彦山川夢の会30名)が協力して河川清掃を実施。その後子ども達の手でサケの稚魚を放流。

